

1 単元 「町じまん」を一つ選んで、すいせんしよう

2 指導計画（9時間完了）

(1) 「わが町ベスト・スリー」を決めよう・・・8時間（本時7/8）

(2) 方言と共通語・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

3 本時の指導

(1) 目標

「自分の町のいいところベスト・スリー」を選ぶために推薦するものを決め、聞き手が納得するように調査したり、推薦理由を説明したりすることができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

「自分の町のいいところ」を考える友達との意見交流を通して、考えの根拠を深めたり、広げたりすることができるようにする。

(3) 準備 教師：「意見交流のきまり」の掲示物、付箋紙 児童：考えキャッチシート

(4) 指導過程

| 時間配分 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|-------------|--|--|
| 2分 | 1 前時までの学習を振り返る。 | ○ 「考えキャッチシート」に書いた自分の考えを確認させる。 |
| | 自分の町のいいところベスト・スリーを考えよう | |
| 32分 (2分) | 2 自分の町のいいところベスト・スリーを考えるため、考えキャッチシートを活用して、意見交流をする。 (1) 考えキャッチシートを使うときの決まりを確認する。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>意見交流の決まり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 矢印を付けた考えや意見に賛成、反対などで色分けをする。 賛成…青 反対…赤 質問…黄色 答え…緑 ・ 付箋に書き込んだ内容を、言葉でも伝えながら考えキャッチシートに貼り付け、誰に帶する意見なのか分かるように矢印を引く。 ・ 発言の時には、他の児童は手を止めるようにする。 ・ 同じ内容でもかまわないので、書き始めた内容は書き、発言して考えキャッチシートに貼り付ける。 </div> |
| (15分) | (2) 考えキャッチシートを活用して一人目の考えを基に意見交流をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えキャッチシートを書いた本人に、始めの考えを発表させ、そこから話し合いを始めさせるようにする。 ○ たくさんの考えが出るように、意見や質問を出すことに肯定的な助言をする。 ○ 自分と違う考えや、新しい視点の考えがあれば、それに注目するように声を掛ける。 ○ 話し合いが停滞したグループには、児童の話し合いが活発化されるような意見や質問を教師が与える。 |

| | | |
|---|----------------------------------|--|
| (15分) | (3) 二人目の考えを基に意見交流をする。 | ○ 前回と同じ意見でも、出してよいことを伝える。 |
| 9分 | 3 友達のことを取り入れて、自分の考えを広げる。 | |
| (2分) | (1) 友達のことの中から、自分の考えに取り入れるものを決める。 | ○ 取り入れる考えや意見に優先順位を付け、番号を①、②と付けさせる。 ○ 取り入れる考えや意見を「考えキャッチシート」に書き、取り入れようと思った理由を書かせる。 |
| (7分) | (2) 友達のことを取り入れて、自分の考えを書く。 | ○ 取り入れることにした友達の考えを使ってよりよくした自分の考えを書かせる。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価事項</p> <p>「自分の町のいいところベスト・スリー」を考える友達との意見交流を通して、考えの根拠を深めたり、広げたりすることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【考えキャッチシート】</p> <p>□…教師が反対意見や新しい視点の意見を一緒に探すことによって、友達の考えを取り入れて、自分の考えを書かせる。</p> <p>☆…なぜ友達の考えを取り入れることにしたのか、初めにもった自分の考えと比べて、理由を書かせる。</p> </div> | | |
| 2分 | 4 意見を発表する。 | ○ 初めの考えからどう変わったかを発表するようにさせる。 |

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動